

## 「みんなで調べる宍道湖流入河川調査」報告書

学 校 名 (団体名) 連 絡 先	雲南市立佐世小学校 Tel: 0 8 5 4 - 4 3 - 2 8 1 6      Fax: 0 8 5 4 - 4 3 - 9 0 6 3 E-Mail: <a href="mailto:sase-sho@city.unnan.shimane.jp">sase-sho@city.unnan.shimane.jp</a>
調査参加者	参加者: 4年生 19名 指導者名: 4年担任 古川 千穂子

「佐世川の秘密を調べよう」というテーマで、1学期から総合的な学習の時間において学習を行った。子どもたちは、小学校のすぐ近くを流れている佐世川に幼い頃から親しんでおり、特にそこで見られる生き物に深い関心をもっていた。そこで、「佐世川に住んでいる生き物をさがしてみよう。」というテーマから学習をスタートし、佐世川でつかまえた生き物についていろいろ調べる中から、水質・環境という点に関心を広げ、さらに佐世川について深く調べていきたいという思いをもつことができた。また、社会科の「水はどこから」の学習において、上下水道施設を見学に行き、水の循環等について学習する中でも、川の水質や環境について考えることができた。生き物調べからスタートし、いろいろな視点をもって学習を進めることができ、より一層地域の川に関心をもち、愛着をもつことができたのではないかと考える。1学期から行った学習は以下のとおりである。

- ① 佐世川の水質調査 『みんなで調べる宍道湖流入河川調査』に参加し、4回水質調査を実施。
- ② 佐世川の生き物調査 佐世交流センター付近のかわこ広場において、2回の生き物調べを行った。
- ③ 佐世川源流探検 佐世川の源流から赤川、斐伊川に合流する地点までをたどり、川幅や水深、水量、水温、周りの様子などを観察した。
- ④ 地域の人から話を聞く ゲストティーチャーを招き、佐世川の昔と今、佐世に伝わるかっぱの話についての話を聞いた。
- ⑤ 調べ学習 子どもたちの興味、関心により個々にテーマを絞り、図書資料、インターネット、地域の方へのインタビューを通して、調べ学習を行った。

〈子どもたちが調べたグループテーマ〉

- |             |                |
|-------------|----------------|
| ・ 佐世川の生き物   | ・ 佐世川の流れや周りの様子 |
| ・ 佐世川の源流    | ・ 佐世川の水質・透明度   |
| ・ 佐世川のかっぱ伝説 |                |

- ⑥ 尾原ダム見学 尾原ダムの見学を通して、ダムが川を利用した暮らしや川の生き物を守っていることを学習した。
- ⑦ 地域の人と一緒にクリーン大作戦 毎年、全校で地域の方と共に、佐世川周辺を含めた学校の周りの清掃活動を行っている。
- ⑧ 学習発表会での発表 11月の地域行事「げんき祭」とタイアップして行われる学習発表会において、「川のひみつ」と題し、学習内容を劇化し、地域の方や保護者に向けて、佐世川調査でわかったことや、見学をして知ったことをまとめ発表した。「水はどこから」や谷に囲まれた大地に苦勞して水を引いた先人たちの努力など、社会科で学習したことも交えながら、現在の川のあるくらしの豊かさや佐世川での活動の様子を伝えた。初めは佐世川の水はきれいだと思うと予想を立てている児童が多かったが、4回のCODパックテストや透視度計を用いた調査をする中で、思ったよりも濁っていたことがわかり、天候の具

合や道具の使い方などでも水質がかわっていったのではないかと考えた。しかし、生き物調べをする中で、きれいな水に生息する生き物も多く見られ、児童はとてうれしく感じていた。また美しい佐世川を大切にしていきたい、守りたいという思いを強くし、これからの自分たちにできることについて考え、発表した。

〈子どもたちの感想〉

- ・ 5月からかわこのことをいろいろと調べました。川にはたくさんの生き物がいることが分かりました。えびやめだか、サワガニがいました。川の中にあみを入れて左右に動かすとめだかがたくさんとれました。CODパックテストや透視度計を使った調査をして、川の水についてこんなふうに調べることができるんだなと思いました。
- ・ 源流探検では、はじめは水が湧き水みたいで、周りに竹がたくさんありました。水が冷たかったです。少しずつ水の流れが集まって、川になっていくのだと思いました。
- ・ かわこ広場でめだかをとりました。とった場所は、流れの遅いところで、深さは足のひざくらいでした。今日の水は、前と比べると流れが速く冷たかったです。透明度は、横から見ると透明に見えても、上から見ると水が濁っていたので、霧雨のせいかなと思いました。
- ・ 佐世川探検で、川の周りが自然のままのところもあったし、コンクリートでつくられたところもありました。また、砂防ダムといって、下流に砂が流れないようにしてあるダムがありました。尾原ダムの見学に行ったときに、斐伊川は天井川なので、何回も洪水が起こったという話を思い出しました。佐世川にも川底に砂がたまらない工夫があるんだなと思いました。

## みんなで調べる六道湖流入河川調査 調査結果表

学校名： 雲南市立佐世小学校

川の名前	佐世川
調査地点名	交流センター付近（かわこ広場）

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
調査日時	6月7日	7月5日	9月9日	10月26日	
天候(当日)	雨	晴れ	くもり	晴れ	
天候(前日)	雨	くもり	晴れ	晴れ	
気温(℃)	21	27	22	20	
水温(℃)	19	25	20	14	
COD (mg/l)	4	4	4	4	
透視度 (cm)	53	75	66	43	
全窒素 (mg/l)					
全りん (mg/l)					
気づいたこと	雨のため、バケツに佐世川の水をくんできて教室で測定した。バケツの中を川の水で洗う共洗いに気を付けた。透視度を測る時に横から見るときれいなのに上から見ると濁っていることに驚いた。	サワガニ、めだか、カワムツ、かじか、ドンコなどたくさんとれた。ハグロトンボの幼虫も見つかり、きれいな水に生息することを調べていた。透視度が前回よりも数値が上がっていた。	思ったよりも水が冷たく、川底が見えるところと、見えないところがあった。水の流れがあまりない、川の端のほうで、魚をとることができた。サワガニは、浅くて川底に石があるあたりで見つけることができた。	前日も晴れていたせいか、測定した中で透視度の数値が一番低かった。前回と比べて、深かったところが浅くなっていた。流れが速くなっているように感じた。	

# 活動の様子

透視度の測定



生き物探し



見つけためだか



COD の測定



源流探検



これが源流？



源流から 1400m 付近の調査



コンクリートでジグザグに段差ができてい  
る上流付近（魚が通れるように、また、  
下流に砂がながれないように）



中流付近での測定



砂防ダム



下流の様子



地域の方からカ  
ップ伝説のお話



尾原ダム見学



地域の人と一緒にクリーン  
大作戦

